

ニ ュ ー ス 済 生

THE NEWS SAISEI

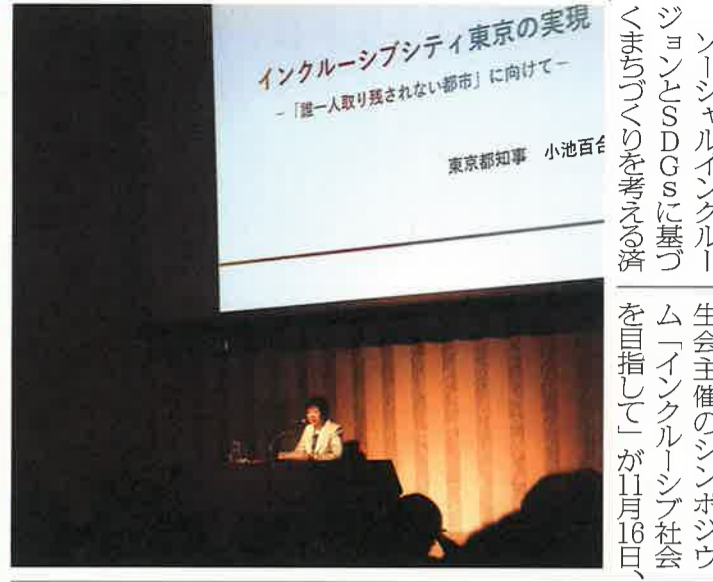


発行所 社会福祉法人 済生会
 東京都港区三田1-4-28 三田国際ビルディング21F 〒108-0073
 電話 03-3454-3311
 FAX 03-3454-5576
 編集兼発行人 炭谷 茂

https://www.saiseikai.or.jp/

排除されない社会を

本会が小池都知事が記念講演



ソーシャルインクルージョンとSDGsに基づき「まちづくり」を考へる。生会主催のシンポジウム「インクルーシブ社会を」が11月16日、東京都港区芝公園のザ・プリンスパークタワー東京で開かれた。小池百合子東京都知事が記念講演を行ない、約210人が参加した。

東京都は2020年度、障害者やひとり親など就労困難な人たちに働く場所を提供するソーシャルファームの設立・運営を支援する制度をスタートさせた。その政策をけん引した小池都知事は「障害者等に単に就労の場を提供するのではなく、その事業が自立して経済活動を続けていくことが重要。ポストコロナの東

京で、持続可能な回復力、サステイナブル・リカバリーを示していくのが私の努め」と訴えた。

炭谷茂理事長は基調報告で、済生会はソーシャルインクルージョンの活動をSDGsと連動させて進め、その活動は国も評価。岸田首相も所信表明の中で包摂社会の実現とつながっていると報告した。パネルディスカッションは松原了本部長がコーディネーターを務め、4氏がそれぞれ活動を紹介した。

社会福祉法人パステルの石橋須見江理事長は栃木県を中心に知的障害者支援事業として、地元の桑の葉を使った菓子を開発して地域との連携も図っている。日本労働者協同組合連合会の田嶋康利

専務理事は、同組合は働く人が出資し経営に携わって労働するという形態。さまざまな事業を自分たちで興して就労の場を確保できると説明した。

北海道済生会の榊引久丸専務理事は、スタートした発達障害児支援事業への申し込みが殺到、潜在的なニーズは多く、それに対応していきたいと報告。東京都済生会中央病院の佐藤弘恵広報室長は、同院が港区のはちみつを使って障害者施設でマドレーヌを製造、販売する地域づくりに参加して新たな病院のかたちを目指していることを説明した。

4氏の報告は熱を帯び、誰も取り残されない社会に実現に向け大きなヒントとなった。

(総合戦略課)

高松宮記念基金にご協力ください

令和4年1月～10月分実績

◎本会会員加入状況	40,599人	80.8%
	45,574口	9,117万円
◎外部会員加入状況		
◎一時寄付状況	18件	51万円
	(内、自販機関係)	29万円
◎募金箱		29万円

ソーシャルインクルージョン まちづくりに3571万円 申請した37支部に資金補助

新型コロナウイルスの余波が続く中、ソーシャルインクルージョンの根付いた社会の実現を目指す費用として37支部に対し合計3571万円の補助が決定。10月7日に支部に通知された。

この補助金は昨年継続の補助金は昨年継続の補助金は、ソーシャルインクルージョンの理念に基づき、まちづくり推進の費用として、原則申請のあった全支部に補助される。ウイズコロナ・ポストコロナを見据え、高齢者、障害児・者、子ども、ひとり親家庭等、社会的支援を要する人々への活動を支援するための資金として交付された。

【議案】第17号 令和4年度事業計画及び同予算の変更(案)▽第18号 定款の一部変更▽第19号 社会福祉法人恩賜財団済生会経理規程の一部改正

【協議】①第3期中期事業計画(素案)

3議案を承認

評議員会が10月27日、本部で開かれた。議案3件が全て原案通り可決された。協議事項は1件、報告事項は7件だった。

2022年度 ソーシャルインクルージョンの事業化に関する事業計画補助

施設名	活動の名称	活動の概要
北海道済生会支部	ソーシャルファームのモデル整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ●就労継続支援事業所「ぶりもぱっそ」の事業拡大 従来事業に加え、ペット関連商品の開発・販売、及び北海道済生会が計画している農業経営にも参画する。 ●農福連携 「済生会ファーム」を開設し、農福連携事業を推進する。塩谷・桃内地域の耕作放棄地を活用しブルーベリーを栽培し、地域住民参加型の農業経営を検討する。 ●刑余者等支援 「ぶりもぱっそ」で商品開発した商品の縫製作業を、刑余者等の作業とする。刑余者の就労支援を行なう基本財団北海道職親プロジェクトや小樽地区協力雇用主会に参加し、他の企業や団体との連携を推進する。 ●福祉と経営両立の研究、エリアマネジメントの人材育成 近年新たに未実施であった福祉事業を展開し、社会福祉法人としてあるべき福祉経営を研究する。支部の経営幹部層や社会福祉士、済生会地域包括連携士などから、エリアマネジメント(福祉と経営の両立できる人材)を育成する。
大阪府済生会吹田病院	「おやこ健康サポートプログラム(なでしこキラキラWAY)」の開発とその運用	院外に出産・育児相談コーナーを設置し、アドバンス助産師が産前早期から出産不安などへのサポートを行なう。産後は定期的な訪問型母子健診等を提供するアウトリーチ型サポートを行ない、問題発生時には院内スタッフ、行政等関係機関とも連携しながら緊急介入していくプログラムの開発・運用を行なう。

【報告】①支部未設置原因

解消済済生会の基本的あり方に関する検討会報告書②新型コロナウイルス感染症に関する本会の対応③第2期中期事業計画

進捗状況(令和3年度通期)④本会施設の経営状況報告(4月～8月)⑤令和4年度上半期資金運用状況報告 (総務課)

秋の叙勲

11月3日 本会関係者

旭日重光章 済生会会長 元熊本県知事 潮谷 義子氏



旭日小綾章 京都府済生会理事 安藤 源行氏



旭日双光章 元岩手県済生会評議員 細井 洋行氏

旭日単光章 北海道済生会理事 澤井 博司氏

瑞宝中綾章 元神奈川県済生会会長 古尾谷 光男氏

瑞宝双光章 元水戸済生会総合病院看護部長 榎谷 厚子氏

瑞宝小綾章 元栃木県済生会業務担当理事・常務理事・高齢者ケアセンター所長 鈴木 勲氏

元金沢若草園園長 諸星 まり子氏

元滋賀県病院臨床検査科技師長兼臨床検査・病理診断センター副センター長 坂田 専蔵氏

元滋賀県病院画像診断科技師長代行 牧田 敏幸氏

愛知県済生会支部長 加藤 欽一氏

元山口県済生会豊浦病院看護部長 村上 道子氏

愛知県青い鳥医療療育センター支援員 杉山 浩明氏

大阪府済生会泉尾病院副院長兼看護部長 鶴瀬 智美氏

事業化への新たな補助 北海道と大阪・吹田

今年度は、障害福祉分野、認知症高齢者、貧困家庭の子ども、高齢の親と障害・無職等の子どもの世帯(8050問題)をはじめとした本会が開

大阪府済生会富田林病院看護部長 六波羅 英子氏

大阪府済生会富田林病院看護部長 六波羅 英子氏



【寄贈】
 東京都済生会 100万円
 松田純一殿 300万円
 小倉律子殿 100万円
 中嶋英雄殿 100万円
 (中央病院へ)
 静岡済生会 100万円
 鈴木滋野殿/鈴木智弘殿
 (静岡済生会総合病院へ)
 滋賀県済生会 100万円
 板東 徹殿
 (滋賀県病院へ)
 大阪府済生会 30万円
 濱口寿美子殿
 武藤健市殿
 (千里病院へ)

愛媛県済生会 100万円
 関 啓三殿
 (松山病院へ)
 12月の予定
 8日 支部長会議(本部)
 16日 施設運営委員会
 1月の予定
 18日 24日 アドバンス・マネジメント研修Ⅲ(本部)
 21日 済生会フェア(静岡)

おこわい 12月号は1月号との合併号で、来年1月初旬の発行です。

名誉3、功労2、寛水賞4

功績 永年勤続は2842人

令和4年度の済生会表彰者が決まった。功績による会員及び永年勤続者は計2851人。10月26日、本部で開かれた功績調査委員会が事務局の原案を承認した。

表彰9人は次の通り。

●名誉会員
辻井夕美子・介護老人福祉施設説明和苑施設長 三重▽山本隆久・兵庫県済生会支部長(兵庫県病院名誉院長)▽服部豊・軽費老人ホームケアハウスやよひの里施設長 岡山

●功労会員
小島博嗣・有田病院副院長兼人工関節センター長 山和子・岡山済生会総合病院副看護部長

山済生会総合病院副院長 ●寛水賞(功労会員のうち看護職に授与)
平澤靖子・宇都宮病院看護副部長 橋木▽鶴森立美・松阪総合病院看護部長 三重▽木村里美・滋賀県病院副看護部長 山和子・岡山済生会総合病院副看護部長

高松宮記念基金の助成 167件4956万円

高松宮記念基金管理運営委員会が10月24日にオンラインで開かれた。令和4年度の高松宮基金助成事業を審議した結果、167件4956万2000円が承認された。予算額(5千万円)を超える申請があったが、規約に基づき各施設の内部加入率による査定の結果、予算内の決定となった。

補助の内訳は、「社会的要援護者対策事業」の診療費又は利用者負担額減免事業35件25,693万円、「社会的要援護者対策先駆的的事业」3件1,741万円、計38件27,434万円。

2 医師国外研修事業 1件452万円
3 児童福祉施設等生活環境改善事業 4件2,957万円
4 要介護老人対策事業 2件1,500万円
5 国際協力事業
①外国人受入れ研修費 申請なし
②姉妹病院との交流費 1件100万円
計 1件100万円

6 マンパワー育成・確保事業
①奨学金及び研修資金 120件19,560万円
②施設の指導者等の育成費 申請なし
③介護教室又はボランティア養成講座 1件100万円
計 121件17,518万円

合計 167件49,562万円

※本基金への内部加入率が90%未満の場合、同比率により減額される

令和4年度 高松宮記念基金助成事業補助金 [予算額:5,000万円]

補助対象事業名	申請金額		補助金決定額	
	件数	金額(単位:千円)	件数	金額(単位:千円)
1 社会的要援護者対策事業				
①診療費又は利用者負担額減免事業	35	26,931	35	25,693
②社会的要援護者対策先駆的的事业	3	2,336	3	1,741
計	38	29,267	38	27,434
2 医師国外研修事業	1	452	1	397
3 児童福祉施設等生活環境改善事業	4	2,957	4	2,957
4 要介護老人対策事業	2	1,500	2	1,156
5 国際協力事業				
①外国人受入れ研修費		申請なし		
②姉妹病院との交流費	1	100	1	100
計	1	100	1	100
6 マンパワー育成・確保事業				
①奨学金及び研修資金	120	19,560	120	17,418
②施設の指導者等の育成費		申請なし		
③介護教室又はボランティア養成講座	1	100	1	100
計	121	19,660	121	17,518
合計	167	53,936	167	49,562



ブロック会議
東北北海道ブロック
仙台市で9人
東北・北海道ブロック会議が10月21日、TKPガーデンシティPREM IUM仙台西口で開催され、済生会本部の松原理事はじめ、支部・施設役員96人が参加した。全体会議では、本部からDXの対応や新型コロナウイルスへの対応、支部未設置県解消等について報告があった。

分科会は「支部・病院部会」と老人福祉部会のうち、特養・老健・在宅の各部門の合計四つに分かれて実施、新型コロナウイルス対策について、施設内のクラスター発生時の対応

永年勤続 30年以上359人▽20年以上787人▽10年以上1696人の計2842人。

表彰は令和5年2月12日、横浜市で開催予定の令和4年度済生会総会の席上で行われる。

委員会では、功労会員の推薦支部に偏りがあるのは支部表彰制度を設けていないことが一因であるため、事務局がさらに広報し、周知を図っていく。(総務課)

北信越ブロック
富山・オンラインで55人
北信越ブロック会議が10月6日にオンラインで開催。本部・支部・施設の役員ら55人が参加した。開会式として野田八郎支部長、本部から松原了理事がそれぞれ挨拶。

「病院・診療所」「特別養護老人ホーム・介護老人保健施設」「保育施設・乳児院・こども園」「訪問看護ステーション」の各分科会から提出された23議題について、全体会議で活発な意見交換が行われた。

本部からは支部未設置県解消等済生会の基本的あり方に関する検討会報告書、DXに対する取り組みと情報セキュリティ対策、新型コロナウイルス感染症に関する本会の対応等の説明があった。

新人看護職員教育担当者研修に69人
新人看護職員教育担当者研修が10月12～14日にオンラインで開催され、病院、訪問看護ステーション、福祉施設から69人が参加した。

コロナ禍で十分な病院実習ができていない新人看護士の支援にあたり新人看護職員研修を効果的に進めるための研修計画の立案や評価、研修指導者としての調整などを学んだ。

富山病院 済生記者 和田温子
富山病院は、2019年開設の(鳥取)なでしこ境港に次ぐ2施設目。介護医療院は長期にわたり療養が必要な要介護者に対して、医療と日常生活上の支援を一体的に提供する2018年に創設された介護保険施設。医師や看護師の配置が義務付けられ、医療処置、看護、介護、リハビリなどを提供する。かごしま介護医療院では、鹿児島病院内の職員が兼務し利用者の生活を支える。

鹿児島病院内は、介護医療院の整備を求める鹿児島県地域医療構想に基づき、鹿児島病院内の療養病床30床のうち12床を介護医療院に転換した。

11月1日に鹿児島病院内で行われた開院式には、鹿児島市社会福祉協議会代表、地元町内会長が来賓として出席。「済生会かごしま介護医療院は住み慣れた地域で、最後まで医療を受けながら安心して生活できる社会ニーズに合った施設」「地域に開かれた施設として役割にも期待している」などの声が寄せられた。

(鹿児島病院 済生記者 竹中康代)

鹿島病院 済生記者 竹中康代
「看護に関する済生会原論」を講義。講師は東京工科大学名誉教授の齊藤茂子氏、杏林大学保健学部教授の金子多喜子氏、湘南医療大学キャリア開発センター講師の栗原良子氏が務めた。

各講師は今の新人看護師世代の特徴や教育手法を解説。グループワークでは、看護現場で生かす研修プログラムの作成と発表を行った。

発表ではGoogle「ジャムボード」と呼ばれるインターネット上のデジタルホワイトボードを使ったアプリを活用。受講生は、「オンラインの研修でここまでできるとは思わなかった。明日から頑張ります」と語った。(看護室)

みんなが便利に、効率的に。
年末調整Web申告

来年はもっと楽に!

従業員の申告画面を動画でチェック

最短1分申告

水戸済生会総合病院様もご利用中

さくら情報システム 50th Anniversary

さくら情報 年末調整

https://www.sakura-is.co.jp/lp/nencho/

HOCHIKI

明日の世界に安全と安心をお届けします

ユーロスターの始発駅として知られる、ロンドンのセントパンクラス駅。ここでも、当社の「火災感知器」が皆様を見守っています。

「製品を通して世界に安全と安心をお届けする。」それが、私たちの使命です。

ホーチキ株式会社